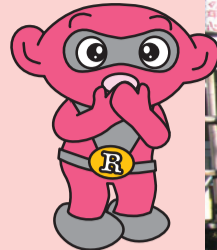


！ごみ収集車の火災事故が増えています

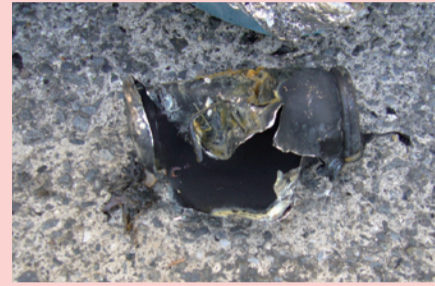
危険ごみが燃やさないごみの中に混入していることで、収集車の火災事故が増えています。ガスボンベやスプレー缶、ライターなどが収集車のなかで押しつぶされた際、漏れたガスに火花が引火して発火していると考えられます。火災事故が起こると、付近を通行中の市民やごみ収集員がけがをする恐れもあります。ごみの出し方のルールを守って火災事故をなくしましょう。



▲火災事故後の収集車



▲黒こげになったごみ



▲爆発したガスボンベ

！使い捨てライターの出し方について

使い捨てライターの誤使用による火災の危険から子どもを守るために、10月から新規格(チャイルドレジスタンス機能付き)の使い捨てライターのみが販売されます。使い捨てライターを処分する場合は、4週に1回の「危険ごみ」の日に出してください。また、中身を使い切っていない場合は、「中身あり」と表示して出してください。(分別辞書25ページを参考にしてください)



！ヘアカラーも危険ごみです

ヘアカラーのなかには、スプレー缶形式のものもあります。写真のようなヘアカラーは、「危険ごみ」の日に出してください。



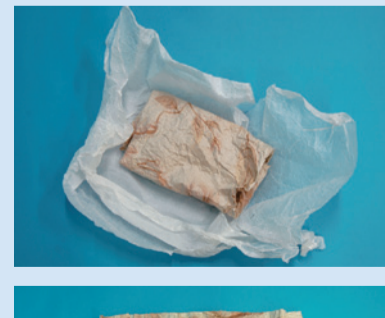
集団回収をはじめませんか



集団回収とは、古紙や古繊維など家庭から出る資源物を地域の皆さんがお互いに協力し、自主的に収集する方法です。自らが回収に携わることでごみ減量・リサイクルへの意識が高まり、また地域のコミュニケーションのきっかけになります。ぜひ積極的な参加とご協力をお願いします。団体の登録については、ごみ減量推進課リサイクル係(042・335・4437)までお問合せください。

これは雑がみではありません

バッグや靴の詰め物に使われている紙で、写真のようにイラストが印刷された紙があります。この紙は、雑がみとしてリサイクルできないので、燃やすごみとして分別してください。



▲この紙は、白い薄紙にくるまれてバッグの中に入っています。白い紙は「雑がみ」として、印刷された紙は「燃やすごみ」として分別してください。

生ごみ処理機器の購入費補助制度

市では生ごみ処理機器の購入に対して補助金を交付しています。補助の対象となる機器は、電気を利用して生ごみを乾燥させる機械や生ごみをたい肥化して処理するコンポストなどです。補助金額は、購入金額の2分の1(上限5万円まで)です。生ごみ処理機器購入後に市へ申請してください。補助金の申請には、下記のものが必要です。詳しくは購入前に市へお問合せください。

※購入後1年を経過したものは補助金の対象外です。

●補助金の申請に必要なもの

- 1 印鑑(シャチハタ不可)
- 2 領収書原本(宛名はフルネーム)
- 3 保証書
- 4 通帳など振込先の分かるもの

府中の ごみ



▲府中市のごみのマスコット
リサちゃん

府中で暮らすみんなのごみ情報紙

6号

平成23年(2011年) 10月

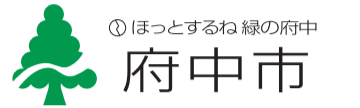
発行:府中市
編集:環境安全部ごみ減量推進課
発行日:平成23年(2011年)10月17日

環境にやさしいまち



JQA-EM2175
府中市役所で実施する事務事業

〒183-8703 府中市宮西町 2-24
電話:042-335-4437(直通)
FAX:042-336-5181
Eメール:risaikuru01@city.fuchu.tokyo.jp



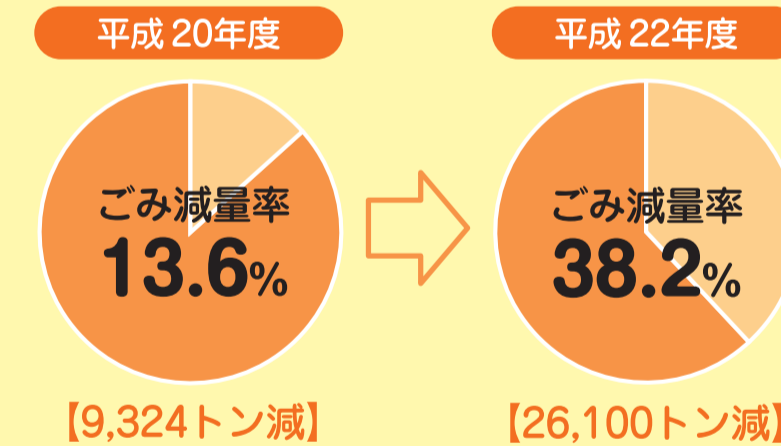
ごみの減量が進んでいます

～減らそう! あと82グラム～

府中市は循環型社会の実現を目指し、府中市環境基本計画において平成16年度から平成25年度までの10年間で、平成13年度のごみ収集実績を基準にごみの総量を**50%**削減するということを目標としています。昨年ごみの有料化・戸別収集を実施したことにより、平成22年度末現在で**38.2%**のごみ減量を達成することができました。この結果は、市民の皆さまのごみ減量に対する高い意識と日々の取組みの成果によるものです。市ではごみ50%削減、リサイクル日本一実現に向けて引き続きさまざまな施策に取り組んでいきます。

「10年間でごみ50%削減」を達成するには、1人1日あたり82グラムのごみをさらに減量する必要があります。今後も一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

※「10年間でごみ50%削減」は、家庭系燃やすごみ、事業系燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの総量で比較を行います。



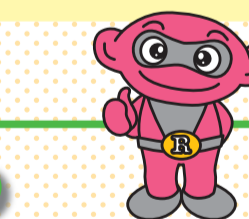
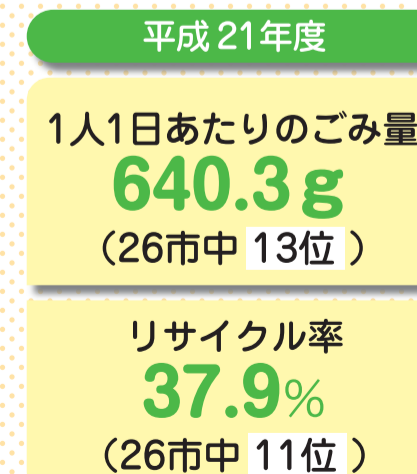
※平成13年度のごみ量 68,395トンを基準に数値を出しています。

こんなことでごみ減量

- ティッシュの使用を1回控えると、**2g**のごみ減量!
- レジ袋を1回断ると、**10g**のごみ減量!
- マイボトルを持つと、**30g**のごみ減量!
- 詰め替え商品を1回使うと、**60g**のごみ減量!
- 生ごみをひとしぼりすると、**10%**のごみ減量!

多摩地域における府中市の実績

平成22年度の府中市における1人1日あたりのごみ量は、537.3gで、これは多摩地域のなかでは1位でした。平成21年度は、640.3gでしたので、16%の減量を達成しました。

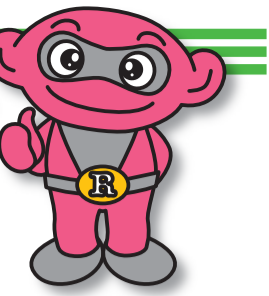


16% 減
(103g減量)

5.4% 増

※多摩地域における1人1日あたりのごみ量は、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ、有害ごみの総計(事業系ごみは含みません)を、各市町村の各年10月1日現在の人口×365日で除して算出しています。

平成22年度府中市ごみ・資源のながれ



ごみもきちんと分別すれば
資源になるんだね！

ごみ・資源の量

49,306トン

(1人1日あたり=537.3g)

※平成22年10月1日現在の人口251,396人で算出しました
※事業系のごみは含みません

平成22年度に府中市で排出されたごみ・資源の量（事業系ごみは含みません）は、49,306トンで、前年度と比較すると16%の減量となっています。品目別でみると、燃やすごみは23%、燃やさないごみは18%、容器包装プラスチックは25%減量となりました。また、雑誌・雑がみの回収量が81%増加していますが、これは燃やすごみに混入していた雑がみがきちんと分別されるようになったためと考えられます。平成21年度と平成22年度の燃やすごみの組成分析の結果をみても、平成22年度の紙類の割合が14%減少しています。



多摩川衛生組合 (前年度比)

燃やすごみ 28,821トン (23%減)

※リサイクルプラザで出た残さは含まれません。
※焼却残廃4,127トンのうち、スラグ発生量が2,073トン、溶融メタル252トン、広域搬出量が1,802トンですべてリサイクルされています。



東京たま広域資源循環組合 (前年度比)

エコセメント化 1,802トン (24%減)

※多摩川衛生組合で出た飛灰をリサイクルしています。



リサイクルプラザ (前年度比)

粗大ごみ 1,928トン (4%減)
燃やさないごみ 2,704トン (18%減)
容器包装プラスチック 4,452トン (25%減)
ペットボトル 758トン (12%増)
びん 2,023トン (7%減)
かん 672トン (11%減)
危険ごみ 83トン (※1)
有害ごみ 112トン (4%増)

※1：危険ごみの分別収集は平成22年2月からのためデータなし

容器包装リサイクル推進協会

- 容器包装プラスチックの資源化
- ペットボトルの資源化
- びんの資源化

各再生工場

- アルミリサイクル工場
- 製鉄工場
- 製びん工場
- 水銀リサイクル工場
- 古布問屋
- 製紙工場 など

紙問屋 (前年度比)

古布 994トン (12%増)
新聞紙 1,008トン (8%減)
雑誌・雑がみ 4,398トン (81%増)
段ボール 1,267トン (22%減)
紙パック 78トン (266%増)

文化センター等 (前年度比)

家庭廃食用油 6トン (11%減)
はがき 2トン (±0%)

ごみ処理経費

家庭ごみの収集方法が変更後、ごみ処理にかかる経費も変化しています。変更前と変更後の各経費は次のとおりです。

家庭ごみの収集方法変更に伴う主要経費の推移

	平成20年度実績 (変更前)	平成22年度実績 (変更後)	平成25年度 見込み
家庭ごみ収集運搬経費	8億6,215万円	11億4,866万円	11億4,866万円
家庭ごみ有料袋作成等管理費	0円	1億966万円	9,000万円
ごみ焼却経費	9億467万円	8億2,963万円	5億6,000万円
ダストボックス維持管理費	8,311万円	0円	0円
合計	18億4,993万円	20億8,795万円	17億9,866万円

- 家庭ごみ収集運搬経費は戸別収集となったため、年間で約1.3倍(約2億8,700万円)の増額となっています。
- 家庭ごみ有料袋作成等管理経費は新たな経費となり、年間約1億1,000万円の増額となっています。
- ごみ焼却経費は、収集方法変更前は、多摩川衛生組合と民間施設の2か所で処理を行っていましたが、収集方法変更後は、ごみ減量が進んだことにより、多摩川衛生組合のみでの処理が可能となり、平成20年度を比較して平成25年度では約3億4,000万円の減額を見込んでいます。
- ダストボックス維持管理費は、戸別収集実施後8,300万円の減額となっています。

今後の取組み

府中市は今後、①ごみ50%削減②リサイクル率日本一の実現③すべての市民・事業者との協働による循環型社会の実現の3つの目標を掲げ、この目標達成に向け次の4つの課題の解決に向けた取組みを重点施策として実施していきます。

- 課題1** さらなるごみ排出抑制の推進
 - 生ごみ減量の推進
 - 将来世代への環境・ごみ教育の実施
- 課題2** ごみ収集方法の見直しによる効果の持続
 - 分別排出ルール徹底・啓発
 - 集団回収の拡充
 - 店頭回収の促進
- 課題3** 事業系ごみの減量・リサイクル
 - 事業系ごみの排出指導の徹底
- 課題4** 新たな資源化システムの導入
 - 剪定枝葉の効率的な資源化
 - 生ごみ等資源化施設の調査研究

問合せ：ごみ減量推進課管理係 電話 042(335)4400